

# 第5回 鶴岡市地域住宅協議会

■日 時： 平成28年3月22日（火） 10:00～11:30

■場 所： 鶴岡市役所 6階 大会議室

■参加者： 別添名簿参照

## 次 第

1. 開 会
2. 挨 拶
3. 協 議

(1) H27年度 鶴岡市住生活基本計画に基づく施策報告（資料1）

〔※個別に事業報告後に評価・意見をお聞きします〕

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1) 成果指標の確認</li><li>2) 住宅セーフティネット事業<ul style="list-style-type: none"><li>－ 1 市営住宅新営改良事業</li><li>－ 2 空き家を活用した住宅セーフティネット事業</li></ul></li><li>3) 鶴岡市空き家対策事業（空き家有効活用支援事業）</li><li>4) 地域住宅活性化事業<ul style="list-style-type: none"><li>－ 1 鶴岡市地域住宅リフォーム支援事業</li><li>－ 2 つるおか住宅活性化ネットワーク事業</li><li>－ 3 鶴岡市木造住宅耐震工事助成事業</li></ul></li></ol> |
|---|

(2) H28年度事業に対する意見・要望

〔説明〕 H28年度住生活基本計画事業の主要業務について（資料2）

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1) 住宅セーフティネット事業<ul style="list-style-type: none"><li>－ 1 市営住宅新営改良事業</li><li>－ 2 空き家を活用した住宅セーフティネット事業</li></ul></li><li>2) 鶴岡市空き家対策事業<ul style="list-style-type: none"><li>－ 1 中心市街地居住促進事業 等</li></ul></li><li>3) 地域住宅活性化事業<ul style="list-style-type: none"><li>－ 1 鶴岡市地域住宅リフォーム支援事業</li><li>－ 2 つるおか住宅活性化ネットワーク事業</li><li>－ 3 鶴岡市木造住宅耐震工事助成事業</li></ul></li></ol> |
|--|

(3) その他

4. そ の 他
5. 閉 会

## 1) 住生活基本計画で掲げる成果指標

基本目標	成果指標		目標値			2015
			2011	2016	2021	
Ⅰ.誰でも安心して暮らせる高齢者、障害者等にやさしい住宅セーフティネットの住まいづくり	①	市営住宅のバリアフリー一定のBF	20.0%	24.1%	26.5%	25.8%
		一居室率(%)	9.8%	13.8%	18.9%	14.1%
	②	民間住宅活用型住宅セーフティネットの整備戸数(%)	0戸	30戸	60戸	8戸
	③	一般住宅のバリアフリー化率の向上(%)	17.8%	22.3%	25.0%	※20.2%
Ⅱ.空き家の有効活用と適正管理による安全・安心な住まいづくり	④	密集住宅地でのランド・バンク事業の事業箇所数(箇所)	0箇所	14箇所	29箇所	5箇所
	⑤	市内空き家棟数の増加の抑制(%)	2200棟	2234棟	2273棟	2806棟
Ⅲ.市街地、農漁村集落地、中山間地のそれぞれの特性を生かした住み続けられる住まいづくり	⑥	地域別住宅着工件数の予想値(件)	235件	243件	248件	256件
	⑦	「住まい」に関する満足度(%)	42.9%	44.7%	46.6%	—
		「周辺の住環境」に関する満足度(%)	37.3%	39.3%	41.2%	—
Ⅳ.地域資源の循環システムにより自然エネルギーを取り入れ、環境に配慮した災害に強い住まいづくり	⑧	登録技術者数(人)	1963人	1980人	2000人	1856人
	⑨	リフォーム工事における地域産木材使用量(m <sup>3</sup> )	204	237	270	263
	⑩	薪ストーブやペレットストーブ暖房機器の使用状況(件)	7	76	145	18
	⑪	二重サッシの住宅割合(%)	15%	21%	27%	※16%
	⑫	木造住宅の耐震化率(%)	70%	90%	95%(全国計画)	74%
	⑬	住宅用火災警報器設置率(%)	72%	100%	100%	81%
	⑭	新設住宅着工件数に占める規格住宅以外の長期優良住宅の割合(%)	4.4%	10%(30戸/年)	20%(60戸/年)	4.1%

※ H25 住宅土地統計調査結果数値

# 鶴岡市住生活基本計画 事業報告書

年度	H27年度
----	-------

事業名	(2)ー1 住宅セーフティネット事業(市営住宅新営改良事業)
-----	--------------------------------

## 事業概要

市営住宅の住環境改善及び長寿命化を図った。

## 事業内容

1. 市営柳原住宅A棟外壁改修工事: 工事費 26,763千円  
柳原住宅A棟(築38年)の外壁の劣化部の補修を行い剥離事故等の危険除去・長寿命化を図るとともに、外断熱化工事を行い居住環境の向上を実現した。
2. 市営美原住宅5,6,10号棟屋根・軒先改修工事: 工事費 15,552千円  
美原住宅5,6,10号棟(築43,43,39年)の軒先劣化部の補修を行い剥離事故等の危険除去を図るとともに、屋根防水改修工事を実施し躯体の長寿命化を図った。
3. 市営大西住宅2,3,4号棟屋根改善工事: 工事費 18,792千円  
大西住宅2,3,4号棟(築33,34,35年)の屋根防水改修工事を実施し躯体の長寿命化を図った。
4. 市営東部住宅1,2号棟屋根改善工事: 工事費 10,584千円  
東部住宅1,2号棟(築37,36年)の屋根防水改修工事を実施し躯体の長寿命化を図った。
5. 市営東部住宅4号棟屋根修理工事: 工事費 1,977千円  
東部住宅4号棟(築35年)の屋根防水老朽化箇所が強風により剥離し、4階住戸で雨漏りが生じるなどしたため、緊急に修理を行った。



市営柳原住宅A棟外断熱化前



市営柳原住宅A棟外断熱化後

6. 市営住宅空住戸風呂釜・浴槽新設: 備品購入費: 4,515千円  
市営住宅の空き住戸31カ所の浴室にガス風呂釜・浴槽を新規に設置した。これにより、新規入居者の入居費用を30万程度削減できることとなった。
7. 市営住宅区画線等設置工事: 工事費約4,000千円  
市営住宅駐車場の老朽化対応として、再舗装及び区画線と番号の引き直しに併せ、駐車場2台目の許可を実施した。これにより、効率的な駐車区画の運用ができるようになった。
8. 市営城南住宅給水設備改修工事: 1,642千円  
市営城南住宅の給水設備老朽化への対応として、単純な給水設備の更新ではなく、給水方法をポンプ圧送から上水道の直圧に変更する工事を実施した。  
これにより、城南住宅入居者の共用費のうちポンプ運転に係る電気料金の削減を実現するとともに、市の給水設備の維持管理費削減にも貢献することとなった。

## 9. 高齢者等住戸への簡易バリアフリー整備 171千円

高齢者、障害者の入居者のうち、建設年度の古い住宅の手すりの必要な割合が高い3世帯に対し、設置工事を行う。次年度以降も継続して、簡易的なバリアフリー工事を行った。

## 目標値

当初(H23年度)		9.8%
<b>H27年度(実績)</b>	市営住宅の高度なBFの 施行率	<b>14.1%</b>
H28年度		13.8%
H33年度		18.9%
当初(H23年度)		20.0%
<b>H27年度(実績)</b>	市営住宅の一定のBF(簡 易BF)の施行率	<b>25.3%</b>
H28年度		24.1%
H33年度		26.5%

## 今年度成果

- ①鶴岡市営住宅等長寿命化計画に基づき、外壁の外断熱化1棟・屋根防水善9棟を行い、長寿命化を図るとともに、居住環境の向上と危険防止にも貢献した。
- ②風呂釜・浴槽を未設置住戸31戸に設置し、新規入居者の費用負担の削減を実現した。
- ③駐車場の老朽化対応として改修工事を行うに当たり、駐車場2台目許可を念頭に入れた工事を行い、入居者の駐車場2台目許可が実現した。これにより、入居者は居住環境の向上、安価な費用での2台目駐車場確保が実現したうえ、市も空き駐車区画の有効活用を行うことができた。
- ④市営住宅の給水設備老朽化対応として改修工事を行うに当たり、給水方法を上水道直圧化に変更する工事を実施した。これにより、当該住宅の共益費の削減と市の維持管理費削減が実現できた。
- ⑤簡易バリアフリー工事3件実施し、居住環境の向上に努めた。

## 地域住宅協議会委員の評価

## 鶴岡市住生活基本計画 事業報告書

年度	H27年度
----	-------

事業名	2)-2 住宅セーフティネット事業(空き家を活用した住宅セーフティネット事業)
-----	---

## 事業概要

住宅セーフティネット法(『住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律』)に基づく『鶴岡市居住支援協議会』を組織し、高齢者・障害者・母子世帯等の民間賃貸物件への円滑居住をサポートするとともに、空き家等を利用した民間ストックの整備・推進を図る。

## 事業内容

## 1. 鶴岡市居住支援協議会

H26.3.24設立。県宅建協会鶴岡、民協連合会、障害者相談支援センター、市社協及び行政で構成。(福祉課、長寿介護課、高齢者交流センター、子育て推進課、建築課)  
会議は年1回開催。(直近はH28.3.10開催)

## 2. 要支援者への情報提供(セーフティネット住宅紹介事業)

民間賃貸入居に際し、支援が必要な高齢者、障害者等へ宅建協会を通じ物件情報を紹介した。

( ) :パーセンテージ

年度	依頼件数	受付窓口別					うち紹介件数 うち成約件数	備考 (紹介なし理由)
		福祉	障相セ	子育て	建築	他		
26	23	13 (56.5)	4 (17.4)	3 (13.0)	3 (13.0)	0	21 (91.3) 6 (26.1)	エリア限定で物件なし1
27	16	10 (62.5)	4 (25.0)	0	2 (12.5)	0	13 (81.3) 8 (50.0)	エリア限定1、自力で探索1
Total	39	23 (59.0)	8 (20.5)	3 (7.7)	5 (12.8)	0	34 (87.2) 14 (35.9)	

依頼件数:39件、紹介件数:34件(87.2%)、成約件数:13件(33.3%)。

※H26.8.1~H28.2.29の19ヶ月間の実績

## 3. あんしん居住推進事業(国庫補助)の利用促進

旧名称:民間住宅活用型住宅セーフティネット整備促進事業。高齢者、障害者、子育て世帯等への賃貸を前提に、一定要件を満たす改修工事に国が直接1/3(上限50万円)を補助するもの。1件の利用相談あったものの、27年度に市内で申請に至ったケースは0件(山形県内も0、全国的にも8,125戸→217戸に激減)。

## 目標値

当初(H23年度)	あんしん居住(民間活用型SN整備)推進住宅の整備戸数	0戸
H27年度(実績)		9戸
H28年度		30戸
H33年度		60戸

## 今年度成果

福祉関係団体・不動産業界・行政の三者が、居住支援協議会の諸事業を通じ各種制度・サービスの情報を共有するとともに、連携して支援する体制を構築できた。今後は会員各機関・窓口が対外的PRに努め、相談しやすい環境づくりを目指す。

セーフティネット住宅紹介事業では、住宅確保要配慮者に多くの情報提供ができた。特に、自力での物件探索が困難と思われる高齢者、知的・精神障害者での成果が目立ち、ニーズに適った支援となっている。

あんしん居住推進事業は、抜本的リニューアルから全国的に利用低調であり、自家利用から貸家へのコンバージョンを中心に、今後の制度活用と賃貸ストック掘り起しを目指す。

## 地域住宅協議会委員の評価

--

# 鶴岡市住生活基本計画 事業報告書

年度	H27年度
----	-------

事業名	③) 鶴岡市空き家対策事業(空き家有効活用支援事業)
-----	----------------------------

## 事業概要

平成27年度、約5年ぶりに市内全域を対象とした空き家実態調査を実施。2273棟から2806棟へ533棟増となる。

鶴岡市空き家バンク活用補助金(交付決定5件)及び鶴岡市中心市街地居住促進事業(事業対象選定3件)を実施している。

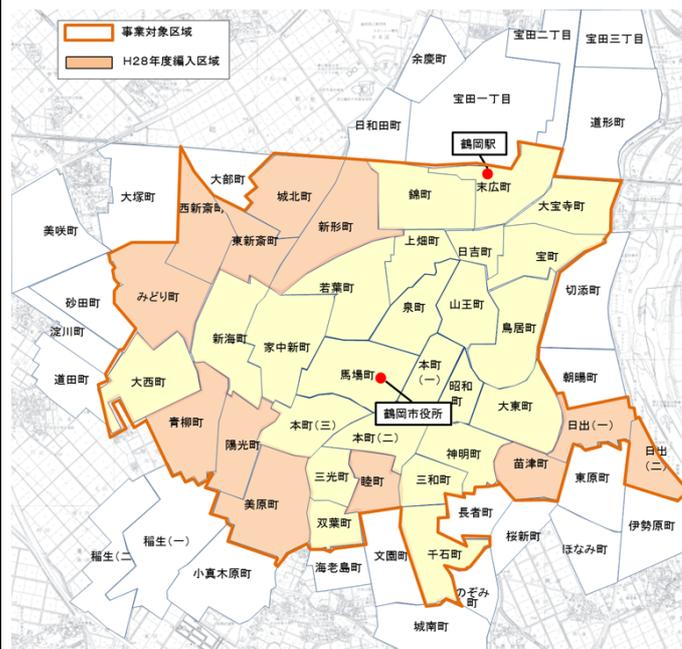
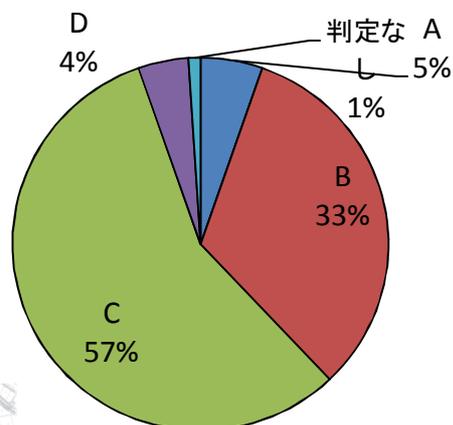
また、空き家の有効活用を図る事業をNPO法人つるおかランド・バンクとともに空き家相談会等を実施し、空き家解消のため有効活用に努めた。

## 事業内容

### 【空き家実態調査】

市内全域を対象に空き家実態調査を実施した。調査の結果、空き家棟数は2,806棟となり、前回調査(H22-23)の2,273棟から533棟の増となった。

地区	H23棟数	H27棟数	増加数	増加率
鶴岡(1~6学区)	1,051	1,229	178	16.9%
鶴岡(郊外地)	567	771	204	36.0%
小計	1,618	2,000	382	23.6%
藤島	154	173	19	12.3%
羽黒	60	88	28	46.7%
櫛引	88	98	10	11.4%
朝日	50	83	33	66.0%
温海	303	364	61	20.1%
合計	2,273	2,806	533	23.4%



空き家実態調査の結果に基づき、  
中心市街地居住促進事業対象区  
域の見直しを行う

**【鶴岡市空き家バンク活用補助金】**

県外からの移住希望者や新婚世帯、若者世帯が「つるおかランド・バンク」を利用して、空き家を購入または賃借し、その空き家を改修した場合に、その工事費の一部に対して補助するもの。5件の交付申請があり、交付金額は1,086,000円を交付。

**【鶴岡市中心市街地居住促進事業】**

中心市街地にある老朽危険空き家などの一定の要件を満たす空き家を寄付行為により取得。建物解体後の土地を基金化し、まちなか居住希望の若者・市外からの移住者等に住宅用地として提供することにより、まちなか居住の促進と良好な住環境整備の促進を図る。応募件数7件に対し3件を選定。H26年度に寄付採納した物件1件を解体。

**【空き家相談会の実施】**

6月、8月、11月につるおかランド・バンク及び構成団体の協力を得、空き家相談会を実施。6月は42組、8月は25組、11月は15組、計82組の相談を受け付けている。

**【つるおかランド・バンク事業】(平成28年2月末現在)**

- ①ランド・バンク事業 相談件数:138件
- ②空き家バンク事業 140件登録 現在31件ホームページに掲載中
- ③空き家管理受託事業 受託件数:10件(うち定期的な見回り5件)
- ④空き家コンバージョン(用途転換) 1件 留学生向けシェアハウス
- ⑤空き家解体 相談件数:24件 成約:7件

目標値

当初(H23年度)		0箇所
<b>H27年度(実績)</b>	密集住宅地での小規模連鎖型区画再編事業の実施箇所数(箇所)	<b>5箇所</b>
H28年度		14箇所
H33年度		29箇所

当初(H23年度)		2,200棟
<b>H27年度(実績)</b>	市内の空き家棟数の増加の抑制(棟)	<b>2,806棟</b>
H28年度		2,234棟
H33年度		2,352棟

今年度成果

・成果指標「密集住宅地での小規模連鎖型区画再編事業(ランド・バンク事業)の事業箇所」は、H27年度3か所実施済みで、H33年度目標値29箇所に対する達成率は10.3%となった。

・成果指標「市内の空き家棟数の増加の抑制」については、本年度実態調査の結果2,806棟となる。ランドバンク事業や空き家バンク事業などを実施しているが、空き家解消や土地の再編には相続や所有者との権利調整などに時間を要している。

地域住宅協議会委員の評価

## 鶴岡市住生活基本計画 事業報告書

年度	H27年度
----	-------

事業名	4) -1 鶴岡市地域住宅リフォーム支援事業
-----	------------------------

## 事業概要

住宅のリフォーム工事の際に鶴岡産木材の活用、部分補強、省エネルギー、バリアフリー、克雪化の要件を満たす場合、建築主に対し補助を行う。更に三世帯世帯や婚姻出産世帯、子育て世帯、移住世帯、1㎡以上の鶴岡産木材の活用の場合は補助の拡充をおこなうほか、県外移住者や空き家活用、3㎡以上の鶴岡産木材の活用の場合は上乗せ補助を行い、地域住宅の質の向上、地元住宅関連産業の振興、地域経済の活性化を図る。

鶴岡市内の自己が所有し居住する住宅のリフォーム工事を行う者に対する補助

※要件あり：地場産木材使用、部分補強、省エネ、バリアフリー、克雪化

施工者は、鶴岡市内に本店があるまたは住所を置く個人事業者と契約を行う。

※工事費の10%かつ上限20万円、

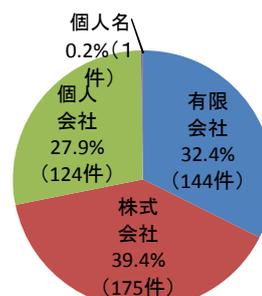
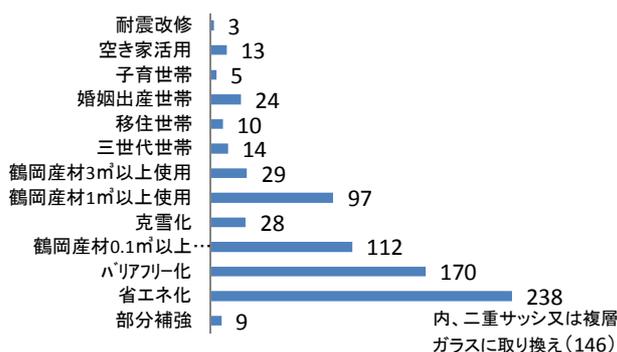
※1㎡以上の鶴岡産木材の活用の場合は工事費の15%かつ上限30万円。三世帯世帯や婚姻出産世帯、子育て世帯、移住世帯の場合は工事費の20%かつ上限30万円

※県外移住者や空き家活用、3㎡以上の鶴岡産木材の活用の場合は、それぞれ工事費の5%かつ上限10万円の補助を上乗せ

【H27年度実績】 補助件数444件(補助金合計額:92,162千円 対象工事費合計額:約11億9,900万円)

・申請工事の要件内訳(取下げを含み重複回答有)

・申請工事の施工者区分



## 目標値

年度	地域産材を住宅産業に活用し森林資源が循環する地域づくり(リフォーム補助事業で鶴岡産木材使用量)	使用地場産木材量	(リフォーム補助事業でバイオマス燃料機器(薪ストーブやペレット暖房機器)使用)	件数
当初(23年度)		204m <sup>3</sup>		7件
<b>H27年度(実績)</b>		<b>263m<sup>3</sup></b>		<b>18件</b>
H28年度		237m <sup>3</sup>		76件
H33年度		270m <sup>3</sup>		145件

## 今年度成果

全体リフォーム補助申請件数 444件、補助対象工事費総額 1,199百万円(うち、地場産木材1㎡以上使用リフォームの申請件数97件 **使用地場産木材量263㎡**、補助対象工事費総額 471,093千円)であり、地域の住宅関連産業の振興、活性化に繋がったが、バイオマス燃料機器の利用は、2件/年にとどまった。

## 地域住宅協議会委員の評価

--

## 鶴岡市住生活基本計画 事業報告書

年度	H27年度
----	-------

事業名	4)－2 つるおか住宅活性化ネットワーク事業
-----	------------------------

## 事業概要

鶴岡産木材をはじめとする、地域が有する人や物、自然、環境などの資源を活用した地域住宅建設を活性化することにより、地域の循環型の住宅関連産業の振興と良好な住環境形成を図る。

## 事業内容

平成27年度は「つるおか住宅活性化ネットワーク」が推進している「つるおか住宅」を促進するため、若者世帯で移住、婚姻出産、子育てのいずれかの世帯が「つるおか住宅」を新築する場合、1戸当たり30万円の補助を行ったほか、更に若者かつ移住世帯で婚姻出産、子育てのいずれかの世帯の場合は、10万円を上乗せを行った。また大工等の技術技能者の育成を図るため、技能検定試験への人材育成などへの活動に対して(1人上限額2万円)支援を行った。

※「つるおか住宅」: 地域の風土を配慮し、地場産木材で地元設計者、施工者で建てられた住宅

## 〈若者世帯新築支援事業〉

要件 ①構造材80%以上鶴岡産木材使用会場

②本会員で構成された「つる家チーム」登録の事業者が設計施工すること

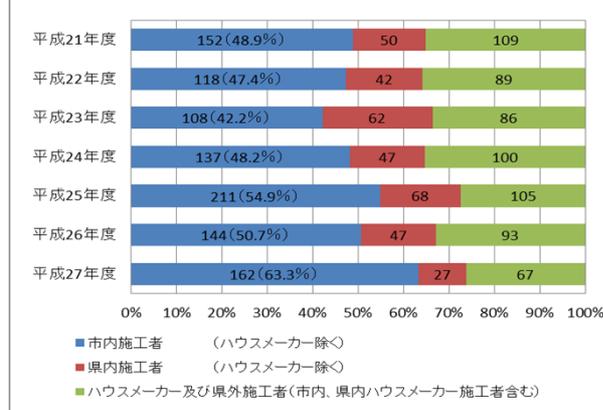
(実績) ③若者で移住、婚姻出産、子育てのいずれかの世帯 : 12戸

④若者かつ移住で婚姻出産、子育てのいずれかの世帯 : 1戸 計13戸

〈技能検定受験費補助事業〉 大工(4名)・塗装工(4名)・型枠工(2名)・瓦葺工(1名) 計11名  
平均申請年齢 : 35歳

《新築住宅市内業者施工割合》H27年度はH28.2.末現在数値

職種	H23.8	H27.8	10年後目標人数
大工	1,167人	1,049人	1,190人
左官	209人	185人	213人
板金工	116人	259人	118人
塗装工	89人	90人	91人
その他	382人	273人	388人
職種別人数計	1,963人	1,856人	2,000人



## 目標値

当初(23年度)		1,963人
H27年度(実績)	地域産材を活用した地元大工・工務店による「つるおか住宅」の活性化(登録職人技術者数)	1,856人
H28年度		1,980人
H33年度		2,000人

## 今年度成果

新築の「つるおか住宅」が20戸(うち、補助件数13戸)建設された。また、技能検定受験の環境づくりを行うことにより、若手の地元技能者の育成を図った。(地元対象受験者数:11名)  
市内の戸建て住宅における市内工務店等による施工割合が6割に上った。

## 地域住宅協議会委員の評価

--

## 鶴岡市住生活基本計画 事業報告書

年度	H27年度
----	-------

事業名	4)-3 鶴岡市木造住宅耐震工事助成事業
-----	----------------------

## 事業概要

木造住宅耐震診断の結果、耐震性が不足しているとされた木造住宅について耐震補強工事を行う際、建築主に対して工事費用の助成を行い、地域の安心・安全なまちづくりを図る。

## 事業内容

## ■ 木造住宅耐震診断事業

- ・対象住宅: 旧耐震基準(昭和56年5月31日まで着工)の木造戸建て住宅
- ・補助条件: 鶴岡市に登録した木造住宅耐震診断士が診断業務を行う。
- ・診断費: 13万円/戸(内、9割補助 自己負担額 1万3千円)
- ・募集件数: 15戸 (申請実績: 12戸)
- ・予算額: 1,800千円 (執行額: 1,404千円)
- ・診断結果: 構造評点(平均)0.24
- ・耐震補強概算経費: 工事費(平均)3,192千円

## 【構造評点】

- 1.0以上1.5未満: 一応倒壊しない
- 0.7以上1.0未満: 倒壊する可能性がある
- 0.7未満: 倒壊する可能性が高い

## ■ 木造住宅耐震改修事業

- ・対象住宅: 旧耐震基準(昭和56年5月31日まで着工)の木造戸建て住宅で、評点1.0未満のもの
- ・補助条件: 鶴岡市内に本店を置く法人または個人事業者と工事契約を行い耐震工事を行う。  
評点が0.7未満の場合、改修後の評点0.7以上、評点が0.7以上1.0未満の場合は改修後評点1.0以上
- ・補助内容: 耐震補強にかかる工事費の25%(上限60万円/戸)
- ・募集件数: 10戸 (申請実績: 3戸)
- ・予算額: 6,000千円 (執行額: 1,800千円)
- ・改修結果

金額単位: 千円

	現況評点	補強後評点	補強工事額
A邸	0.11	0.71	2,457
B邸	0.27	0.73	3,416
C邸	0.26	0.74	4,600
合計			10,473

- ・平均現況評点: 0.21
- ・補強後平均評点: 0.73
- ・平均補強工事費 3,491千円



## 目標値

当初(23年度)		70.0%(推定値)
<b>H27年度(実績)</b>	災害に強い安全・安心住宅の整備 促進(木造住宅耐震化率)	<b>74.4%(推定値)</b>
H28年度		90.0%(推定値)
H33年度		95%(推定値)

## 今年度成果

広報誌による掲載や防災フェアなどのイベントを利用した周知活動を行い、また年間を通して市建築課内での住宅耐震相談窓口の実施により、耐震診断事業12件、耐震改修事業3件を行い、地震災害に強い安心・安全なまちづくりに繋がった。

## 地域住宅協議会委員の評価

--

# H28年度 住生活基本計画事業の主要業務

## 資料 2

(○: 予算執行課、単位: 千円)

種別	事業	事業所管	事業費
1) - 1 住宅セーフティネット事業(市営住宅新営改良事業)			
	市営東部住宅3号棟屋根改善工事 建設から36年を経過し、ゴムシートが剥離する危険性が高くなっていることから、塩ビ系シート防水により改善を行う。	○建築課	72,000
	市営東部住宅5号棟屋根・外壁改善工事 建設から34年を経過し、ゴムシートが剥離する危険性が高くなっていることから、塩ビ系シート防水により改善を行う。また、外壁を改修することにより断熱性能の向上を図る。	○建築課	
	市営美原住宅1, 2, 8, 9号棟屋根改善工事 屋根防水設置から26~25年ほど経過し、ゴムシートが剥離する危険性が高くなっていることから、塩ビ系シート防水により改善を行う。	○建築課	
1) - 2 住宅セーフティネット事業(空き家を活用した住宅セーフティネット事業)			
	鶴岡市居住支援協議会によるセーフティネットの構築 高齢者・障害者世帯等の住宅確保要支援者のために、福祉と住宅が連携した住宅支援協議会を組織し、民間住宅を活用した住宅セーフティネットを構築する。	○建築課	254
2) 鶴岡市空き家対策事業			
有効活用	2) - 1 中心市街地居住促進事業 中心市街地の指定区域にある老朽危険空き家を寄付採納、除却し、更地になった土地を移住者、若者、子育て世帯に宅地供給する。	○建築課	11,168
	2) - 2 空き家利活用コーディネーター育成事業 空き家対策に積極的に取り組んでいるNPOの空き家利活用コーディネーター育成に対し支援することにより、空き家利活用の促進を図るとともに、持続可能な「しごとづくり」につなげていく。	○建築課	2,600
適正管理	2) - 3 空き家等審議会経費 「空き家条例」の規定により設置される審議会の開催	○環境課	3,755
	2) - 4 空き家対策委託事業 「空き家条例」の規定に基づき、応急措置、代執行に対応するための補修、解体委託及び豪雪による空き家倒壊に対策のための雪下ろし委託等	○環境課	
3) 地域住宅活性化支援事業			
	3) - 1 鶴岡市地域住宅リフォーム支援事業 県の補助制度を基本とし、本市独自に鶴岡産木材の一定量以上使用する場合や空き家発生の抑制に繋がる空き家活用リフォーム工事のほか、人口減少対策の取り組みの一環として、婚姻や出産に伴いリフォーム工事を行う場合や市外からの移住者がリフォーム工事をする場合に乗せを行うなど支援制度の拡充を図る。	○建築課	102,000 (耐震分3,000を除く)
	3) - 2 つるおか住宅活性化ネットワーク事業 地場産木材の利活用や住宅産業を取り巻く課題を踏まえ、良好な住環境を構築するための地域住宅建設を活性化し、持続可能な地元住宅関連産業の振興を図る。 (技能技術者の育成支援、若者世帯への地元職人・地場産木材による「つるおか住宅」の建設支援)	○建築課	
	3) - 3 鶴岡市木造住宅耐震工事助成事業 建築物耐震改修促進計画に基づき、木造住宅の耐震化率を向上させるため、耐震診断及び耐震改修(耐震リフォーム)の補助を行い地震災害による被害の軽減を図る。	○建築課	4,755